

第13回 けん玉道関西グランプリ2015 大会要項

- 目的 けん玉界の頂点「第37回全日本けん玉道選手権大会」に向けて、けん玉の技術向上と精神力を鍛え、個々の課題を明確にする
- とき 2015年4月26日（日）開場9時30分、受付10時～、開会10時30分
- ところ 大正区民ホール 〒551-8501 大阪市大正区千島2-7-95
地下鉄長堀鶴見緑地線、JR環状線「大正」より、市バス「大正区役所前」下車すぐ
- 主催 日本けん玉協会関西総支部
- 参加費 1人1000円
- 参加資格 関西地区（2府4県）在住。
 - ・中学生以上の部（中学生以上）
優勝者に「第37回全日本けん玉道選手権大会」の関西シード権を与える。
 - ・小学5・6年生の部（小学5・6年生）
将来の「全日本けん玉道選手権大会」を目指そうとする選手。
- 持ち物 日本けん玉協会公認けん玉、筆記用具、上履き、昼食、飲み物
- 備考 「けん玉道関西チャンピオンシップ」との重複参加は不可

《試合方式説明》

- ・日本けん玉協会認定段位を持たないものについては、事前に実力検査を行ない、式段以上の実力を認められた場合、大会に参加できる。
- ・予選は大会選技①～⑫の12種目2回制の計24点満点の得点制方式。
- ・予選得点順に、各部門上位8名（1位～8位）が、決勝トーナメントに進出する。
- ・けん玉は、日本けん玉協会公認けん玉（新富士、新さくら、TK16Master、夢元、大空）を使用すること。

《けん玉検査》

- ・使用けん玉は、できるだけ新品の品質を保持しなければならない。
- ・玉の穴は、原型を保持している。
- ・けん玉にキズ、破損、再塗装、修理、加工等がある物は使用できません。
- ・その他、使用けん玉の試技の成否に影響すると判断される、キズ、カケ、破損等は、審判団で協議し使用の許可を決定する。

《予選・得点制競技》

- ・予選開始前にけん玉検査を行ない、合格したけん玉を使用する。
- ・第一次予選のみで、二次予選（敗者復活戦）は行わない。
- ・大会選技①～⑫の12種目を2回ずつ行う
- ・各試技1回の成功につき、1点とする（合計24点満点）
- ・各選手の試技は、審判が「成功」及び「失敗」を判定した瞬間に完了する。
- ・各試技は審判の「はじめ」のコールを聞いてから15秒以内に開始し「時間です」のコール（「はじめ」から40秒）があるまでに技を完了しなければ失敗とする。
- ・「はじめ」のコールの前に試技を行なった場合、その試技は失敗とする
- ・「時間です」のコールと、審判の判定が同時であった場合、審判の判定を優先する。
- ・「時間です」のコールは、全員の試技が40秒以内に完了した場合は行わない。
- ・試技が別の選手の試技により妨害された場合は、やり直しを求めることが出来る（挙手により主審・副審・大会スタッフに合図し、勝手にやり直さないこと）
- ・予選得点が同点の場合は、以下の方法に基づいて順位を決定する。
 - （1）各種目の1回目の合計得点が高い人が上位とする。
 - （2）同点の場合はサドンデスを行う。技の順番は審判がくじを引いて決定する。
サドンデスは一順を限度とし、決着しない場合は「全日本タイム競技2015」を行う。

《決勝・トーナメント戦》

- ・予選順位の高い上位8名が決勝トーナメントに進出する。
- ・決勝トーナメントの組み合わせは、予選の順位により決定する。
- ・先攻後攻については、トーナメント表の左側の選手を先攻とする。
- ・選技は、各クラス規定の①～⑫の種目からくじ引きで決める。
- ・1回戦と準決勝戦、3位決定戦については、4本勝負（2本先取勝ち）
- ・決勝戦については、6本勝負（3本先取勝ち）
- ・各試合、規定の本数で同点となった場合は「全日本タイム競技2015」で勝負を決める。
- ・試技及びタイム競技において、主審の「はじめ」のコールの前に試技を開始した場合は、その試技は無効として注意が与えられる。その選手が2度目の注意を受けた場合は、その時点でその試技は失敗とする。3度目以降も同様。回数は決勝トーナメント中、累積する。
- ・主審の「はじめ」のコールの後、15秒以内に試技を開始すること
- ・主審の「はじめ」のコールの後、40秒以内に試技を完了すること
- ・上記2項目に違反した場合、その試技は失敗とする。

《表彰》

- ・各部門「優勝者」「準優勝者」「第3位」

《その他》

- ・事前のけん玉検査で不合格になった場合に備え、予備のけん玉を準備する。
- ・当日の飛び入り参加や見学は自由。

《連絡先》

この大会に関する質問、お問い合わせは下記まで。

日本けん玉協会 関西総支部 事務局

奥野 睦夫 (Tel) 090-6604-2334 (E-Mail) alpaca-kendama@emobile.ne.jp

けん玉道関西グランプリ大会選技

- ① 二回転飛行機
- ② つるし一回転飛行機～はねけん
- ③ 回転うぐいすの谷渡り
- ④ うずしお灯台～さか落とし
- ⑤ 一回転すくいけん
- ⑥ ふりけん～一回転けんフリップ地球まわし
- ⑦ 二回転灯台～一回転さか落とし
- ⑧ 宇宙遊泳一回転飛行機
- ⑨ 極意わたり
- ⑩ 円月殺法（空中もちかえ）一回転灯台
- ⑪ （変動種目1）横はねけん
- ⑫ （変動種目2）はやぶさ返し

★全日本タイム競技2015

- ①ろうそく返し、②前ふりうぐいす～回転けん、③ヨーロッパ一周～地球まわし
- ④円月殺法、⑤宇宙遊泳、⑥つるし一回転灯台～さか落とし

☆技の説明

・固定種目について

日本けん玉協会ホームページ（動画）http://kendama.or.jp/category/news/news_information/

日本けん玉協会 関西総支部ホームページ <http://www.2010kendaman.com/> を参照のこと

・変動種目について

⑪横はねけん

【持ち方】 玉の持ち方

【技の動作】

玉の穴にけん先を入れて、そのまま玉を持ちけんを水平に横に寝かせ（右利きの場合：左側にけん）て構える。けん先を抜きながらけん尻を手前に返しけんを水平に一回転させて、けん先を再び玉の穴に入れる。

【注意事項】

・けん先が完全に玉の穴に入ること。

・けん先を抜きながらけん尻を手前に返しけんを水平に一回転させるための、膝をまげる、手を上下させる等の予備動作を開始した時点で技が開始されたと見なす。

・技を開始した後に、けんが玉の穴から抜けなかったので、再び投げ上げるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。

・通常のはねけん、または斜めはねけんにならないこと。

・けん先を再び玉の穴に入れた後に、手首を返してけんを上方に向けてもよい。

・予選競技においては、審判員からけん玉の見えない位置になった場合、失敗と判定する。

⑫はやぶさ返し

【持ち方】 片手でけんを持つ。持ち方の詳細は問わない。

持ち替え後の持ち方 玉の持ち方

【技の動作】

けんを持ち、玉を下につり下げて構える。糸が張った状態のまま背中側で玉を振り上げてけんを放し、けん玉を空中に投げ上げ、糸の張った状態でけんと玉を結ぶ糸の中央付近を中心にけんと玉が手前に1回転してきた時に、最初にけんを投げた手とは別の手で玉をつかみ、「飛行機」のようにけんを振り出した後、けんを手前に1／2回転させ、けん先を玉の穴に入れる。

【注意事項】

・けん玉を背中側で投げ上げる方向は、両肩を結ぶラインに沿った方向とする。

・けん先の玉の穴への入れ方は、すくいけんや一回転飛行機にならないこと。けん先は水平より下向きの状態で玉の穴に入れること。

・けんを放す前に、玉を前後にふる、リズムをとるために動作を反復することは可とし、この予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。

・最初にけんを持った手と別の手で玉をつかむこと。

・技を開始した後に、けんを放す前に、振る動作をしている玉を再び手で押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。

・玉をつかむ時は、玉が背中側（両足のかかとを結んだ線の後ろ側）に在る状態でつかむこと。（足が動いて両足のかかとを結んだ線がずれてしまった等の理由で）背中側と認められない位置で玉をつかむと失敗と判定する。

・玉をつかんだ後に、けん先を玉の穴に入れる時は、けん玉が背中側にある必要はない。すなわち（足が動いて両足のかかとを結んだ線がずれてしまった等の理由で）背中側と認められない位置でけん先を玉の穴に入れてもよい。